

施策評価表

令和6年度分

施策コード	3-1-1	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	交通安全意識の啓発					
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。</p> <p>本町では、これまで地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通事故防止の成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。</p> <p>平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空閑放射能量の測定を行っており、安全性には問題のない程度で落ちていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていますことから、適切な情報公開や放送線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれています。一日も早い解消が求められています。</p>				交通安全運動や児童の登下校時の指導などを実施することにより交通安全意識を啓発するとともに、町民一丸となった交通事故防止に努めます。近年、高齢者が関係する交通事故が多発していることから、高齢者に対する交通安全教育の徹底を行うとともに、交通ルール遵守とマナーの向上を図ります。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
交通事故発生件数	件	33	26	25	24	25	-	0.24	25	0.24
			5	5	10	6	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	5,552	5,672	6,920	6,744	7,257	8,754

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[] おおむね順調</p> <p>[] いっそうの推進が必要</p> <p>[] 抜本的に見直しや改善が必要</p>
今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業
成果 A	1事業	(50.0%)
B	1事業	(50.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	2事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	1事業	(50.0%)
B	1事業	(50.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 「丸森町地域防災計画」にかかる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

施策評価表

令和6年度分

施策コード	3-1-2	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	犯罪のない住みよいまちづくりの推進			-	-	-
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、団体機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を開催していく必要があります。</p> <p>本町では、これまで地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。</p> <p>平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空閑放射能量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ちていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていますことから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれていますが、一日も早い解消が求められています。</p>				警察との連携のもと、家庭、学校、地域が一体となって防犯意識の高揚に取組むとともに、犯罪の未然防止に努めます。近年、高齢者を狙った犯罪も増加傾向にあり、特に特殊詐欺について手口が巧妙化、複雑化、多様化していることから、地域が連携し防犯体制の強化、充実を図ります。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
町内の犯罪件数	件	69	59	56	56	50	-	0.74	50	0.74
			36	46	40	37	△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	5,439	6,867	7,345	8,496	8,127	8,407

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[] おおむね順調</p> <p>[] いっそうの推進が必要</p> <p>[] 抜本的に見直しや改善が必要</p>
今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業
成果 A	2事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	2事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	1事業	(50.0%)
B	事業	(0.0%)
C	1事業	(50.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点 2.0

平均点 2.0

平均点 1.0

平均点 1.0

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 防犯関係機関と連携しながら、防犯体制の強化を図り、犯罪のないまちを目指す。特に高齢者が特殊詐欺を防止するため、特殊詐欺の予兆に関する情報提供や宮城県及び町が実施している「特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金」の周知を図るとともに、地区の防犯活動への支援を継続する。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

施策評価表

令和6年度分

施策コード	3・1・3	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	防災・減災のまちづくりの推進			○	-	○
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、団体機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を開催していく必要があります。</p> <p>本町では、これまでも地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。</p> <p>平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空港放射能量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ちていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていますことから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に設置した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれています。一日も早い解決が求められています。</p>				各地で異常気象や集中豪雨による浸水被害が発生するなど以前とは異なる自然災害が増加していることから、災害に強い、安心・安全のまちづくりに向けて、防火・防災施設の充実により、消防力や緊急時の対応能力を高めるとともに、防災・危機管理に対する町民の意識の向上を図ります。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
自主防災組織の結成率	%	78.0	100	100	100	100	-	0.98	100	0.98
			98	98	98	98	△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	92,959	134,964	152,332	154,446	233,309	1,235,486

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<ul style="list-style-type: none"> [] おおむね順調 [] いっそうの推進が必要 [] 抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事業事業数	26	事業
成果 A	14事業	(53.8%)
B	2事業	(7.7%)
C	4事業	(15.4%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	17事業	(65.4%)
B	3事業	(11.5%)
C	1事業	(3.8%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	14事業	(53.8%)
B	3事業	(11.5%)
C	4事業	(15.4%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	拡充	【説明欄】
		災害に強い、安心・安全のまちづくりに向け、防火・防災施設の維持管理を継続するとともに、消防力の維持及び緊急時の対応能力の強化を図るために、機能別団員の制度を導入し、団員の確保に努める。また、地域における自助・共助・公助による防災のまちづくりを進めるため、防災学習の実施、自主防災組織の活動支援、住民自治組織等との連携をより一層深め、防災意識の向上を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】

施策評価表

令和6年度分

施策コード	3・1・4	評価担当課	仮置場対策室	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	放射能対策の推進			-	-	-
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、団体機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。</p> <p>本町では、これまで地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。</p> <p>平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空港放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ちていますが、いまだ出荷制限が解除されない林産物があり、町民の不安も残っていますことから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている住民対象の早期決定が待たれています。一日も早い解消が求められています。</p>				原子力発電所の事故対応により発生した放射性廃棄物の適正管理、最終処分の促進とともに、放射性物質に関する適正な情報の発信、子どもを対象とした甲状腺検査等により、町民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを行います。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
放射性廃棄物適正管理率(仮置場)	%	0	100	100	100	100	-	1.00	100	1.00
			100	100	100	100	△	-		
放射性廃棄物処理率	%	0	100	100	100	100	-	1.00	100	1.00
			100	100	100	100	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	27,479	40,408	32,828	133,465	270,193	40,815

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[] おおむね順調 [] いっそうの推進が必要 [] 抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	8	事業
成果 A	8事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	6事業	(75.0%)
B	1事業	(12.5%)
C	1事業	(12.5%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	8事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点

2.0

平均点

1.6

平均点

2.0

平均点

1.9

次年度以降の方針(主担当課)	拡充	[説明欄] 引き続き、町民の安全安心な生活のため、空間・食品等の放射能測定を実施するとともに、汚染廃棄物の処理について、国等と検討・調整を進める。また、東京電力への損害賠償請求も継続し、県や近隣市町村を情報共有しながら、適切な処理を進めていく。
委員会評価	拡充	[委員会意見欄] 担当課意見とのおり。